

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-99	小学校	道徳科	道徳	4
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
208 光文	道徳 408	小学どうとく ゆたかな心 4年		

1. 編修の基本方針

教育基本法第2条の教育の目標を達成するために、以下の項目を以って基本方針としました。

◎「深く考え、心が動く授業で、子どもたちのゆたかな心を育てること」を目指し編修しました。

1

見通しをもった自主的・主体的な学習のために

【第1号】「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う」ため、冒頭にオリエンテーションを配置し、1年間の見通しをもった学習過程を示しています。

● 1年間の学習の見通しをもつ

巻頭にオリエンテーション「さあ、どうとくの学習が始まります」(p.2~9)を配置。道徳科で学ぶ内容を明らかにし、道徳性を養う意義を児童自らが考え理解し、自ら目的意識をもち、主体的に学習へ取り組めるよう配慮しています。

2

学習効果を高めるための工夫

【第1号】「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う」ため、掲載の教材では以下のような授業の流れを提案しています。

● 導入の工夫

各教材の冒頭に導入を設置し、主題に関わる問題意識をもたせ、教材の内容に興味・関心を抱かせます。それによって学習意欲を高め、目的意識をより明確にした上で、学習に取り組めるようにしました。

● 展開の工夫

児童に寄り添うキャラクターを設定し、共感や気づき、考えるためのポイントや考えを広めるための見方など、様々な「投げかけ」を行うことで、多様な感じ方や考え方を実感できるようにしました。多面的・多角的に考える発問など、児童の思考を促すよう考慮しました。

■児童の思考をサポートするキャラクター



● 終末の工夫

「まとめる」として、その時間に学習した内容を振り返るポイントを提示。「考えたこと」「わかったこと」「学んだこと」を確認します。同時に今後の課題についても考えることができます。

導入でもった問題を意識して学習に臨み、終末で学習内容を振り返ることによって、授業開始時と終了時における考え・心の変容が実感できるようにしました。

● 発展の工夫

「広げる」として、「道徳の時間」で学んだことを他教科等や学校での活動、家庭生活、地域社会へとつながりをもたせ広げていくためのポイントを提示しています。

● 学習の振り返りの工夫

児童が自らの学習状況を確認する手立てとして、巻末に自己評価シート「学びの足あと」を用意しました。

3

多様な教材の開発

● 多様な教材の開発【第1・3・4・5号】

「幅広い知識と教養を身に付ける」ため、学級や学校生活などの児童が自分のこととして考えやすい題材や、読み継

がれてきた名作などの、人間としての生き方に迫ることができる題材を選定しました。

「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」といった題材は、発達段階を考慮しながら全学年に設置しました。特に「スポーツ」に関しては、オリンピックやパラリンピックを題材として、自国の選手の活躍や国際的な大会としての見地もふまえた国際理解・親善にもつながる教材・コラムを掲載しました。

また、偉人や実在の人物の教材からは、その考えや生き方から学び、「勤労を重んずる態度」「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度」を養えるよう配慮しています。

● 地域教材の開発【第5号】

「伝統と文化を尊重」する態度を養うため、地域の伝統や文化、行事、先人など、児童に身近なことがらを題材としました。各地域の事例にあわせた学習へつなげられるよう、モデル教材として内容の汎用性を高めました。

4 指導内容の重点化

● 生命の尊さを軸に「生きる力」を育む【第4号】

「生命を尊ぶ」ため、生命の尊さについて、人間尊重の精神を重んじ、生命に対する畏敬の念をもち、人間としてよりよく生きる喜びへとつながるよう、小学校6年間の見通しをもって取り組めるよう配置しました。

5 体験的な学習についての配慮

【第3号】「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ため、以下のような体験的な活動への広がりを考慮しました。

● 「まとめる」「広げる」の活用

「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ため、学習のまとめとして、挨拶や言葉遣いなど具体的な道徳的行為を行い、そのよさや難しさなどを体験する活動を提示し、他教科の学習や家庭・地域での活動で実際に行うことを提示しています。

● 人間関係づくり

「男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる」ために、コラム「みんなでやってみよう！」で、コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係の構築を図るための、様々なグループワークを提示しています。主体的・対話的で深い学びの実践としても活用できるようにしました。

● 勤労と社会奉仕への対応

様々な人物に焦点を当て題材を吟味し、キャリア教育にもつながる、生き方を学ぶ教材を用意しました。

また、多様な社会奉仕活動や学校内での奉仕活動なども取り上げ、「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ことに配慮しました。

6 問題解決的な学習の工夫

● 「問い」をもつ【第1号】

「真理を求める態度」を養うため、オリエンテーションでは、「どうしてだろう」「なぜだろう」と、児童が常に「問い」をもって授業に臨むことの重要性を示しました。各教材においても、児童の経験や生活の中から「問い」がもてるように、様々な設問（導入）の工夫をしています。

7 家庭や地域との連携

● 「広げる」の活用【第3号】

「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ため、家庭や地域の人たちとの関わりのある活動を示し、学習したことが児童の日常生活へつながるように配慮しました。



8 自己評価の活用

● 「学びの足あと」の設置【第1・2号】

「真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心」を培い、「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばす」ために、学習後の振り返りを行い、巻末自己評価シート「学びの足あと」を記入します。授業後の心の動きや学びを継続し道徳性をより深め育み、書き溜めることにより児童自らが成長を実感し、新たな課題や目標を見つけて学習に取り組むことができます。

2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について、主な教材を取り上げ、該当ページを示しました。

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
教科書全般		○イラストや写真などにおいては、男女の平等などに留意しました。(第3号)	すべてのイラスト・写真
オリエンテーション		○道徳の授業で、これからどのような学習をしていくかを説明し、児童が自らの生活を振り返りながら、見通しや課題をもって学習に取り組み、学んだことを生活に生かせるようにしました。(第1号)	p.2~9
A 主として自分自身に関すること	3 サッカーボール	○うそやごまかしをしないことが、明るく楽しい生活に結びつくことが実感できるように配慮しました。(第1号)	16 p.74~77
	11 わたしのゆめ	○夢や目標に向かって努力し続けた人や、夢をもつことを意識させる話を通して、夢や目標をもって物事をやりとげる心を育てるようにしました。(第1号)	27 p.124~129
	13 早起きは三文の徳	○自分を律し、安全に気をつけ、健やかな生活を送るために必要なことが実感できるようにしました。(第1号・第2号)	37 p.164~167
	16 ぼくはMVP	○生活文など児童に身近な場面が書かれた教材文を通して、よいことは進んで行い、悪いことは行わない自律の心を育てるようにしました。(第2号)	13 p.60~63
	18 心の体温計	○自分のよさを発見し、よさを伸ばすことで、将来の夢やよりよく生きる喜びにつながるようにしました。(第2号)	18 p.84~87
	27 ノーベル賞の生みの親—アルフレッド・ノーベル—／ノーベル賞の歴史		36 p.160~163
B 主として人との関わりに関すること	36 心にプレーキ		3 p.20~23
	37 とべ! ペットボトルロケット		16 p.74~77
			18 p.84~87
			36 p.160~163
			11 p.52~55
			37 p.164~167
	1 貝がら	○働く人たちとその仕事を知り、感謝の気持ちをもつことで、勤労を重んじる態度を養うようにしました。(第2号)	15 p.70~73
	7 かさ	○友達や先生、地域の人など、学校生活の中で接する多くの人を取り上げ、自分とは違う考えをもった人の考えを理解し、思いやりの心をもって学校生活を送ることができることをねらいとしました。(第2号・第3号)	38 p.168~171
	14 ゲームのやくそく		1 p.10~13
	15 石油列車、東北へ向かって走れ!		7 p.34~37
17 学級新聞作り		14 p.64~67	
19 せきが空いているのに		17 p.78~83	
20 ブラジルからの転入生		20 p.92~95	
 みんなのために何ができるか(25・26)	○協力に関する複数の資料を読むことで、協力についての認識を広げ、学校生活や日常生活の様々な場面において、力を合わせたり、助け合ったりする態度につながるようにしました。(第3号)	 25・26 p.113~121	
25 「祭り日」			
26 十六番目の代表選手			
32 お礼の手紙			
38 ぼうや、生きていてくれよ	○わが国で昔から大切にされている礼儀を学び、その行為にある意味を考えることで、伝統と文化を知り、進んで実践しようとする態度を養うようにしました。(第5号)	32 P.144~147	

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
C 主として集団や社会との関わりに関すること	2 みんなのためにできること	○家族や学校の友達の姿を見つめることで、自分と関わる人を敬愛し、大切にすることを育てるようにしました。(第1号)	5 p.28～31
	5 さか上がり		6 p.32～33
	6 お母さんのせいきゅう書		30 p.138～141
	8 ねがいを積み上げた石橋 ／地域のねがいでつくられ、守られてきたもの	○学校や家での自分の役割を自覚させ、自分にできることや仕事をするときの心情を考えることで、勤労を重んじ、進んで働く態度を育てるようにしました。(第2・3号)	2 p.16～19
	✿ きまりを守る心 (9・10)		21 p.96～99 28 p.130～133
	9 どっちがいいか	○社会のルールやマナーを知り、それらが何のためにあるのか、自分たちに何ができるかを考えることで、よりよい社会生活を送るための基盤をつくる心を育むようにしました。(第3号)	9 p.44～47
	10 自分たちにできるエコ活動		10 p.48～51
	12 良太のはんだん		22 p.100～103
	21 みかん出し		31 p.142～143
	22 雨のパスでいりゅう所で	○身近にある昔から残っているものを題材に、自分の住む町のよさを知ったり、受け継がれている文化に触れたりすることで、国や郷土の伝統と文化を知り、大切に受け継いでいこうとする態度を自覚するよう配慮しました。(第5号)	8 p.38～42
	28 えがおの花大作戦		39 p.172～175
	30 ぼくの生まれた日ードラえもんー		
31 図書館で	○児童の身近にある外国とのつながりを取り上げ、他国にも自国との共通点があることを知り、他国やそこに住む人々に親しもうとする気持ちが高まるようにしました。(第5号)	33 p.148～152	
33 さくらのかけ橋 ／世界のいろいろな料理			
39 かつおぶし			
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	4 十さいのプレゼント	○自然の中にある美しさや、不思議さに目を向けることで、自然を大切にすることや、自然の美しさに感動する豊かな情操を養うようにしました。(第1・3号)	4 p.24～27
	23 せいっぱい生きる		24 p.108～112
	24 鳥にのこしたかきの実	○人の命を救う仕事をしている人や、人の命を救うために行動した人々のことを知ることで、命の尊さを感じ、自他の命を大切にすることを育てるようにしました。(第4号)	✿ 34・35 p.153～157
	29 百羽のつる		
	✿ みんなの命 (34・35)		
	34 レスキュー隊	○家族との関わりを描いた教材や、命を輝かせて精一杯生きることについて扱った教材から、命の大切さや尊さを学び、実感できるようにしました。(第4号)	23 p.104～107
	35 五百人からもらった命		40 p.176～179
40 元気がいちばん			
コラム	みんなでやってみよう 「言葉のキャッチボール」(ナイスボールをなげよう)	○友達との間で問題が起きたとき、相手を嫌な気持ちにさせず、思いを伝える活動を行うことで、友達の気持ちを考え、それを大切にすることを育てられるようにしました。(第2号・第3号)	p.14～15
	情報モラル インターネットの落としあな	○児童が出会うと予想される生活場面を通して、インターネットなどを使うときのルールやマナーを考えられるように配慮しました。(第3号)	p.68～69
	オリンピック・パラリンピック パラリンピックの競技	○パラリンピックの競技について学ぶことを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第3号)	p.122～123
	みんななかよし 楽しい学校 いつも同じグループでいいのかな?	○学校生活で起こり得る場面から、よりよい人間関係やいじめのない学級生活を実現するにはどうすればよいかを、児童が身をもって考えられるようにしました。(第2号・第3号)	p.158
	ことばのたからもの	○児童の学びの支えとして言葉のもつ力を知り、それが今後の生活に生きることを実感できるようにしました。(第1号)	p.159
学びの足あと	○授業の記録をつけることで、学習内容の定着を図り、自己の成長を振り返り、道徳心を培うことができるように配慮しました。(第1号)	巻末折込み ①～④	

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

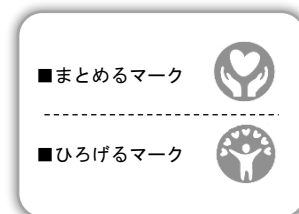
教育基本法第5条及び学校教育法第21条に示された義務教育の目標を達成するために、以下のような編集方針を以って臨みました。

● 授業の見直しをもつ 【教育基本法第5条／学校教育法21条1・2号】

「自立的に生きる基礎を培う」ため、各教材の冒頭に「導入」、最後に「まとめる（終末）」「広げる（発展）」を設置し、1時間の授業の目的や流れを明確にし、児童一人一人が意識を高めた中で「道徳の時間」の学習に取り組めます。

「導入」では、教材に対する興味・関心を引き出したり、問題意識をもたせたりするなど、「自主自立の精神」のもと、学習に対する意欲と動機づけが高まるように配慮しました。

「まとめる」「広げる」では、「学校内外における社会的活動」の促進を期待し、その時間の授業を振り返り、その後の「道徳の時間」以外への活動へつなぎ、さらに広げられるよう考慮しました。



● 体験活動から実生活での行動化へ 【学校教育法第21条1・2号】

オリエンテーションにおいて、体験することの重要性に児童が着目できるように、「やってみる」(p.5)を設けました。また、授業で学習したことが生活の場での体験につながる意識づけができるような構成としています。

明るく楽しい学級づくりを目指す「みんなでやってみよう！」で「人間関係づくり」のコラムを全学年に取り入れています。

● 連携しやすい教材 【学校教育法第21条1・2号】

学校内外における社会体験活動を促進し、家庭や地域との交流を描く教材を生かし、家庭や地域との連携がとりやすい教材を作成しました。また、自然体験活動の促進も同様に実際の自然と触れ合う行動や行事などを絡めた教材づくりを行いました。他教科とも適宜関連連携が図れるよう構成の配慮をしています。

● 社会の形成者として 【教育基本法第5条2号】

「国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養う」ため、実生活での道徳的実践にも生かせるよう配慮しています。冒頭のオリエンテーションでは「いろいろな場面で……」(p.6)として、学校・家庭・地域での道徳体験と行動を示唆し、各教材の終末・発展では生活の中で道徳性を発揮するための提案も行っています。また、社会に参画する構成員の一員としての自覚を育む配慮もしています。

併せて「主権者教育」の視点から「社会参画に関する教育」なども教材の題材として扱っています。

● 言葉のもつ力を生かす 【学校教育法21条第5号】

本編教材では言語活動との関連もふまえ、教材を読むことで読書活動を行い、また学習内容を広げるために、題材と関連する本を読むよう促す終末・発展の工夫もあります。また、コラム「ことばのたからもの」では、語彙の獲得にもつながるよう、名言や格言を紹介し、教材とも関連させ、言葉のもつ力を実感できるようにし、道徳的にも意味あるものとして掲載しました。

● よりよく生きるために 【学校教育法第21条10号】

勤労を重んずる態度として「勤労、公共の精神」の内容を基に配慮しています。「個性の伸長」によって個性を生かすことを学び、偉人や活躍する著名人の生き方からキャリア教育的な見地からも、人間として生きる喜びを感じるため、特性を育み学べる教材を重視しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-99	小学校	道徳科	道徳	4
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
208 光文	道徳 408	小学どうとく ゆたかな心 4年		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

◎「深く考え、心が動く授業で、子どもたちのゆたかな心を育てること」を目指し編修しました。

1 見通しをもった自主的・主体的な学習のために

● 1年間の学習の見通しをもつ

教科書の冒頭にオリエンテーションとして「さあ、どうとくの学習が始まります」(p.2~9)を配置することで、道徳の学習で「どういったことを、どのように学ぶのか」を明らかにし、道徳性を養う意義を児童自らが考え理解し、目的意識をもって主体的に学習に取り組むことができるように配慮しました。

道徳で学習したことが、他教科・領域の学習や学校行事、日常生活などへとつながり、また日常生活の中から問いを見つけ、道徳の学習へ返っていくというスパイラルでの学習を図としてあらわしました。児童自らが課題を見つけたり、学んだことを生活に生かしたりすることの大切さをわかりやすく説明し、児童自身の将来像を描けるように構成しています。

また、命・いじめ・情報についてはもくじにて新たにマークで明示しました。

● 毎時間の授業の見通しをもつ

各教材には、冒頭に「導入」、最後に「まとめる(終末)」「広げる(発展)」を設置し、1時間の授業の目的や流れを明確にしました。「導入」では、教材に対する興味・関心を引き出したり、問題意識をもたせたりするなど、学習に対する意欲をもたせ、動機づけができるようにしました。「まとめる」「ひろげる」では、その時間の授業を振り返り、授業後の活動へとつながるようにしています。

■まとめる
マーク



■ひろげる
マーク



2 学習効果を高めるための工夫

● 導入の工夫

各教材には、冒頭に導入を設置し、主題に関わる問題意識をもたせたり、教材の内容に興味・関心をもたせたりすることで、学習への意欲を高め、目的意識をもって学習に取り組めるようにしました。

● 展開の工夫

児童に寄り添うキャラクターを設定し、共感や気づき、考えるためのポイントや考えを広げるための見方など、キャラクターを通して様々な「考える」投げかけを提示しています。投げかけをもとに、多様な感じ方や考え方を実感できるようにし、児童自身の考えを深めたり広げたりできるように配慮しました。

考える必然性や切実感のある発問、自由な思考を促す発問、物事を多面的・多角的に考える発問など、児童の思考を促す投げかけになるよう考慮しています。

■児童の思考をサポートするキャラクター



● 終末の工夫

「まとめる」として、その時間に学習した内容を振り返るポイントを提示し、「考えたこと」「わかったこと」「学んだこと」や今後の課題について考えられるようにしました。導入で問題意識をもって学習に臨み、「まとめる」で学習内容を振り返ることによって、授業開始時と終了時における考えの変容が実感できるようにしています。

● 発展の工夫

「広げる」として、道徳の学習で学んだことが、他教科・領域や家庭生活、地域社会へとつながるような課題やポイントを提示しました。他教科等との関連をもたせた指導を有効に行うことができるよう、学習時期も配慮した配列としています。

● 学習の振り返りの工夫

児童一人一人が自らの学習状況を確認する手立ての一つとして、巻末に自己評価シート「学びの足あと」を用意しました。

3

多様な教材の開発

● 選択できる教材の掲載

学校や地域の実態などに即して弾力的に取り扱えるように、第1学年は6本、第2～第6学年は5本の選択教材を用意しました。

● 多様な教材の開発

学級や学校生活など、児童が自分のこととして考えやすい題材や、長く読み継がれてきた名作など人間としての生き方に迫ることができる題材を選定しました。特に「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」等の題材については、児童の発達段階を考慮し全学年に設置しています。また、オリンピックやパラリンピックを題材とした教材も設定しました。

● 現代的な課題への対応

情報化への対応に関しては、「友情、信頼」「節度、節制」といった各内容項目の教材において『情報モラル』に関わる内容を題材として扱い、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度について考えられるようにしました。また、『情報モラル』は特に配慮が必要な項目と捉え、全学年とも本編の教材のほかにコラムとしても取り上げています。また、『主権者教育』の視点から「社会参画に関する教育」など、『人との共生』の視点から「国際理解教育」「障害の有無などに関わらず、互いのよさを認め合って協同していく態度」など、併せて「防災教育」等の諸課題についても、教材の題材として取り入れ、その学習を行うことで児童が自分との関係で捉え考えられるよう配慮しました。

● いじめの防止

いじめの防止や安全の確保といった課題については、児童にとって喫緊の問題と捉え、教材において直接的・間接的にいじめについて児童自身の問題として捉えられるような教材を選定しました。

また、全学年にコラム「みんななかよし 楽しい学校」を発達段階に合わせて設置し、特に学校生活において、児童自らがいじめの防止等に主体的に関わる態度を育めるように配慮しました。

● 地域教材の開発

地域に根づく伝統や文化、行事、先人など、児童にとって身近なものを題材とした教材を取り入れ、伝統と文化を尊重し、国や郷土を愛する態度を養うことにもつながるように配慮しました。題材は各地域のものであっても、どの地域においても活用できるよう、汎用性をもたせたつくりとなっています。

4

指導内容の重点化

● 重点主題の設定

特に「重点的な指導を必要とすることがら」(『小学校学習指導要領』第1章総則 第1の2)について、長期的な見通しのもとにしっかり育むという趣旨のもと、連続的に扱うことでより効果が得られる教材を児童の発達段階に考慮して設定しています。

- 1・2学年「善悪の判断、自律、自由と責任」「節度、節制」「生命の尊さ」
- 3学年「規則の尊重」「友情、信頼」「よりよい学校生活、集団生活の充実」「生命の尊さ」
- 4学年「規則の尊重」「友情、信頼」「生命の尊さ」
- 5学年「相互理解、寛容」「勤労、公共の精神」「生命の尊さ」
- 6学年「規則の尊重」「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」「生命の尊さ」

● 「生命の尊さ」を軸に「生きる力」を育む

重点主題のなかでも、特に「生命の尊さ」については、人間尊重の精神を重んじ、生命に対する畏敬の念をもち、人間としてよりよく生きる喜びにつながるよう、6年間の見通しをもって取り組めるようにしました。

5

言語活動の充実

● オリエンテーションの活用

オリエンテーション(p.2～9)において、考える活動についての方法を掲載し、その重要性や目的がわかるようにしました。また、「どうとくのノート」の例を提示し、書いてまとめることによって理解を深めたり整理したりできることを示しました。

● 「まとめる」「広げる」の活用

「まとめる」「広げる」では、話し合ったり書いたりする活動を示唆し、学習の理解を深められるようにしました。

● 言葉のもつ力

コラム「ことばのたからもの」では、人生の道標や支えとなるような名言を紹介し、教材と関連させることで言葉の意味を深く理解し、言葉のもつ力を実感できるようにしました。

● 自己評価シートの活用

「学びの足あと」に授業後の記録をつけることで、自分の考えを表現する力を育み、学習を継続的に深められるようにしました。

6

体験的な学習についての配慮

● オリエンテーションの活用

オリエンテーションにおいて、体験することの重要性に児童が気づき、授業で学習したことが生活の場での体験につながる意識づけができるような構成としています。

● 「まとめる」「広げる」の活用

学習のまとめとして、挨拶や言葉遣いなど具体的な道徳的行為を行い、そのよさや難しさなどを体験する活動を示唆したり、他教科の学習や家庭・地域での活動で実際にやってみることを提示したりしています。

● 人間関係づくり

コラム「みんなでやってみよう！」を全学年に設置し、コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係の構築にむけて、発達段階に応じた様々なグループワークを提示しています。主体的・対話的な深い学びの実践としての活用にもつながられます。

7

問題解決的な学習の工夫

● 「問い」をもつ

オリエンテーションにおいて、「なぜだろう」「どうしてだろう」と、児童が常に「問い」をもって授業に臨むことの重要性を示しました。各教材においても、児童の経験や生活の中から「問い」がもてるように、様々な設問（導入）の工夫をしています。

● 多面的・多角的に考える

教材の下端には、「考える」投げかけを配置し、様々な視点から投げかけを行い、児童が多面的・多角的に考えられるようにサポートし、様々な考えや意見をもとに、問題の解決にむけて取り組むことができるように配慮しています。

8

家庭や地域との連携

● 「広げる」の活用

家庭や地域の人たちとの関わりをもたせた活動を提示し、学習したことが児童の日常へつながるように配慮しました。

● 連携がしやすい題材

教材には、家庭での出来事や地域との交流を描いたものなど、家庭や地域との連携がとりやすい題材を多種取り入れています。

9

評価について

● 「学びの足あと」の設置

児童が学習後の振り返りができるように、巻末に自己評価シート「学びの足あと」を用意しました。授業後の心の動きや学びを継続して記しておくことで、自ら成長を実感し、新たな課題や目標を見つけて学習に取り組めるように配慮しています。また、学期末や年度末といった長いスパンでの振り返りもできるように、「まとめ」欄も設けています。

10

誰にでも使いやすい教科書

● 読みやすい文章

漢字は前学年までに習った漢字の使用を基本とし、文節で改行を行うなど、読みやすさに配慮しています。また第3学年までは、すべての漢字にふりがなを振り、すべての児童が読み取りやすい工夫をしています。また、わかりにくい文言については適宜脚注で説明を設けています。

● 大きな写真やイラスト

写真やイラストが引き立つようレイアウトし、児童の興味・関心や思考が深まるようにしました。

● ユニバーサルデザイン

図版やグラフ等の配色は、だれでも見やすいよう専門家の目を通しカラーユニバーサルデザインに配慮して編修しています。また、児童の負担感の軽減のために、紙の厚みを抑えて軽量化を図っています。教材には、登場人物の紹介を冒頭に入れ、より読みやすい教材づくりの工夫をしました。

11

造本上の工夫

● 環境への配慮

印刷には植物油インキを使用しています。また、製本には針金を使用せず、堅牢性を保ちながら環境にも配慮しています。

● 堅牢性

はがれにくい糊を使用するとともに、表紙に筋を入れることで、頻繁に開閉しても壊れないよう工夫しました。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	備考	配当 時数
	主たる内容項目	関連性のある内容項目			
オリエンテーション さあ、どうとくの学習がはじまります	すべて		p. 2～9		*
1 貝がら	B 相互理解, 寛容	B 友情, 信頼	p. 10～13	いじめ	1
みんなでやってみよう! 「言葉のキャッチボール」(ナイスボールをなげよう)	B 相互理解, 寛容	B 友情, 信頼	p. 14～15		*
2 みんなのためにできること	C 勤労, 公共の精神	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	p. 16～19		1
3 サッカーボール	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	A 正直, 誠実	p. 20～23	いじめ	1
4 十さいのプレゼント	D 感動, 畏敬の念	D 自然愛護	p. 24～27		1
5 さか上がり	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	A 希望と勇気, 努力と強い意志	p. 28～31		1
6 お母さんのせいきゅう書	C 家族愛, 家庭生活の充実	B 感謝	p. 32～33		1
7 かさ	B 親切, 思いやり	B 感謝	p. 34～37		1
8 ねがいをつみ上げた石橋	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	C 勤労, 公共の精神	p. 38～41		1
コラム 地域のねがいでつくられ, 守られてきたもの	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度		p. 42		*
重点主題 扉 きまりを守る心	C 規則の尊重		p. 43		
9 どっちがいいか	C 規則の尊重	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	p. 44～47		1
10 自分たちにできるエコ活動	C 規則の尊重	A 節度, 節制	p. 48～51		1
11 わたしのゆめ	A 個性の伸長	A 希望と勇気, 努力と強い意志	p. 52～55		1
12 良太のはんだん	C 公正, 公平, 社会正義	B 友情, 信頼	p. 56～59	いじめ	1
13 早起きは三文の徳	A 節度, 節制	C 規則の尊重	p. 60～63		1
14 ゲームのやくそく	B 友情, 信頼	B 相互理解, 寛容	p. 64～67	いじめ 情報	1
情報モラル インターネットの落としあな	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任		p. 68～69	情報	*
15 石油列車, 東北へ向かって走れ!	B 感謝	C 勤労, 公共の精神	p. 70～73	防災	1
16 ぼくはMVP	A 正直, 誠実	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	p. 74～77		1
17 学級新聞作り	B 相互理解, 寛容	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	p. 78～83	いじめ	1
18 心の体温計	A 節度, 節制	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	p. 84～87		1
19 せきが空いているのに	B 親切, 思いやり	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	p. 88～91	共生	1
20 ブラジルからの転入生	B 友情, 信頼	C 公正, 公平, 社会正義	p. 92～95	いじめ 共生	1
21 みかん出し	C 勤労, 公共の精神	C 家族愛, 家庭生活の充実	p. 96～99		1
22 雨のバスていりゅう所で	C 規則の尊重	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	p. 100～103		1
23 せいっぱい生きる	D 生命の尊さ	A 希望と勇気, 努力と強い意志	p. 104～107		1
24 鳥にのこしたかきの実	D 自然愛護	D 生命の尊さ	p. 108～112		1

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	備考	配当 時数
	主たる内容項目	関連性のある内容項目			
重点主題 扉 みんなのために何ができるか	B 友情, 信頼		p. 113		
25 「祭り日」	B 友情, 信頼	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	p. 114～117		1
26 十六番目の代表選手	B 友情, 信頼	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	p. 118～121		1
オリンピック・パラリンピック パラリンピックの競技	B 友情, 信頼		p. 122～123	共生	*
27 ノーベル賞の生みの親 —アルフレッド・ノーベル—	A 希望と勇気, 努力と強い意志	C 勤労, 公共の精神	p. 124～127		1
コラム ノーベル賞のれきし	A 希望と勇気, 努力と強い意志		p. 128～129		*
28 えがおの花大作戦	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	C 勤労, 公共の精神	p. 130～133	主権者	1
29 百羽のつる	D 感動, 畏敬の念	B 親切, 思いやり	p. 134～137		1
30 ぼくの生まれた日—ドラえもん—	C 家族愛, 家庭生活の充実	D 生命の尊さ	p. 138～141		1
31 図書館で	C 規則の尊重	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	p. 142～143		1
32 お礼の手紙	B 礼儀	B 感謝	p. 144～147		1
33 さくらのかけ橋	C 国際理解, 国際親善	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	p. 148～151		1
コラム 世界のいろいろな料理	C 国際理解, 国際親善		p. 152		*
重点主題 扉 みんなの命	D 生命の尊さ		p. 153		
34 レスキュー隊	D 生命の尊さ	C 勤労, 公共の精神	p. 154～155	防災	1
35 五百人からもらった命	D 生命の尊さ	B 親切, 思いやり	p. 156～157		1
みんななかよし 楽しい学校 いつも同じグループでいいのかな?	C 公正, 公平, 社会正義	B 友情, 信頼	p. 158	いじめ	*
ことばのたからもの	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 A 節度, 節制	B 親切, 思いやり A 希望と勇気, 努力と強い意志	p. 159		*
36 心にブレーキ	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	C 規則の尊重	p. 160～163		*
37 とべ! ペットボトルロケット	A 希望と勇気, 努力と強い意志	B 友情, 信頼	p. 164～167		*
38 ぼうや, 生きていてくれよ	B 感謝	D 生命の尊さ	p. 168～171		*
39 かつおぶし	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	C 家族愛, 家庭生活の充実	p. 172～175		*
40 元気がいちばん	D 生命の尊さ	C 家族愛, 家庭生活の充実	p. 176～179		*
			合計		35

○重点主題は、特に重点的な指導を必要とすることがらについて、複数の教材を続けて学習することによって、道徳的価値の理解を深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるという趣旨のもと、設定している。

○備考欄には、『学習指導要領』第3章 特別の教科道徳 第3の2, 3 (1)に記載されている題材を取り扱った主な教材を記した。いじめ→いじめの防止/情報→情報モラル・情報社会/主権者→主権者教育/共生→人(他者)との共生/防災→防災教育

○配当時数が*印の教材は、適宜扱う。